

が許し、諸条件が満たされれば、そのあとの計画に近い将来、順次建設のゴーサインが出ることを期待したいと思います。このような状況からみますと、将来的に放射光利用研究者は自身の研究にふさわしい複数の放射光施設を選択し、利用する形が多くなっていくと思われまします。そこで各施設はよりよい成果を挙げる努力や独自性を発揮することが求められるでしょう。このような放射光利用の多様化の中でSPring-8も他の施設とともに競争と協調の関係を保ちつつ発展していくことが期待されまします。

SPring-8が稼働するまで残すところ2年を切りましました。利用者懇談会はめざす目標を高く掲げ、利用者サイドとして期待されている役割をしっかりと果たしていきましよう。



## 顧問挨拶

姫路工業大学理学部長

田井 晰

SPring-8はいよいよ平成10年に稼働する運びとなり、これに連動する各種設備の準備も着実に進んでいると伺っています。このような重要な時期に利用者懇談会の顧問を引き受けることになり、責任の重大さを感じると共に、非力ながらお役に立てるよう努力したいと思っています。

私がシンクロトロン放射光施設の話をも初めて知ったのは丁度10年前の6月、姫路工業大学に赴任した時でした。当時、姫路工業大学学長であられた角戸正夫先生から、この施設の西播磨地区への誘致について熱心なお話をうかがったことを今でもはっきり記憶しています。私は有機合成屋で、すぐにシンクロトロン放射光が如何なるものか、よく理解できませんでしたが後日同僚の安岡教授からその詳細についての解説をうけ、その重要性を理解すると共に、施設の誘致成功の暁には、私どもの将来を支える希望の光になることを強く予測しました。

その後兵庫県挙げての施設の誘致が成功し、その名もSPring-8と命名されるとともに、私たちの嬉しい予測が当り、SPring-8の利用、支援を視野にいたした姫路工業大学理学部の開設が決まりました。理学部の開設は平成2年に実現し、平成3年にはSPring-8設置予定地を見下ろす丘の上に新学舎が完成しました。そして理学部のスタッフ一同は播磨科学公園都市の最初の住人として、又将来の利用者として、SPring-8完成までの現地の姿を日々観察することとなりました。当初は山裾を行き交う無数のダンプカーの姿、続いて長尺ビームラインを設置する巨大な台地の出現、くると円形に削り取られた山、そこに姿を現した白い巨大な環状の建物、まさに光の神を祭るマヤの神殿の再来を播磨公園都市に見るかのような感じでここ数年が過ぎました。建設作業が鋭意進展していることは、私ども関係者にとって大変嬉しいことで、3年後に、この神殿から21世紀の新しい光が発せられ

るのを心待にしている昨今です。

さて施設の建設と言うハードの部分の進展と共に、これを制御し利用する人的資源、すなわちソフトの部分の準備、充実もSPring-8による研究開始には不可欠の要件です。SPring-8利用者懇談会もその一翼を担う重要な機関として、広い分野に跨る利用者の御希望およびお知恵を総括し、より効果的な施設運用の企画を進めて行かなければならないと思っています。また私が所属する姫路工業大学理学部も、地元の有力な利用者として積極的に懇談会に参画すると共に、教育機関として、将来SPring-8関連研究に従事する研究者の育成にも努力する所存です。現在理学部では大学院博士課程を平成8年に開設し、SPring-8が完成する平成10年には最初のドクターを世に出す予定でいます。また理研、原研など播磨公園都市に来られる研究所とは連合大学院を構成して、若い学徒をSPring-8および関連施設での研究につき込みたいと計画しています。

SPring-8は巨大精密プロジェクトです。ハード、ソフト両面で、これを支える無数のパーツの1つにでも僅かなミスが有れば、プロジェクト全体に大きな支障が生じることになります。全てに完べきを期し、平成10年完成に向けての諸準備が進行し、施設が本格的な稼動体制に入ることを念じて就任の挨拶にしたいと思います。



## 運営委員挨拶

### ◇運営委員として

東北大学 科学計測研究所  
渡辺 誠

今期の運営委員になりました。よろしくお願ひします。現在SPring-8は立ち上げに向けて建設が着実に実行されています。共同チーム、財団の方々は光源の建設、ビームライン関係のR&Dなどに非常に頑張っておられます。また多くのサブグループの方々は先行のビームラインの設計にお忙しいです。利用者懇談会の会長や幹事の方々もビームラインの要望や共同利用に関する要望をとりまとめて共同チームや財団に提案したり、シンポジウムや講習会を企画したり大変です。御協力により、ビームラインの早期実現や研究態勢の整備等が着々と進んでいるように思います。一方、私達運営委員の主な役割は懇談会会員の御意見、御要望を会長や幹事の方々に伝え、ひいては共同チーム、財団の方々に伝えることではないかと思っています。どれだけお役に立てるかどうかわかりませんが、御意見、御要望をお寄せ下さい。

私の個人的な希望としては、光のコヒーレンスを用いるとどのような研究が新しく展開できるかということテーマにした研究会が開かれればなあと考えております。